

平成29年度
地域学校協働活動の実施状況に関する
アンケート調査報告書

平成30年3月
宮城県教育庁生涯学習課

調査報告に当たって

平成23年3月に発生した東日本大震災から7年が経過いたしました。

本県においては、震災以降、平成17年度に取組を始めた「みやぎの協働教育」をさらに発展させ、子供たちの学習支援や家庭教育支援、子供たちの学びを核とした地域住民のネットワーク構築、コミュニティ再生を図ってきたところです。

平成27年12月には、中央教育審議会において、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」がとりまとめられ、「地域学校協働活動」の推進と「地域学校協働本部」の整備が提言されました。

この提言を受け、平成29年3月に本県が策定した「第2期宮城県教育振興基本計画 ～志を育み、復興から未来の創造へ～」においては、基本方向の一つとして、「家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり」を掲げ、「地域と学校が連携・協働のもと、一体となって子供を育む『地域学校協働活動』の推進と、活動を支える『地域学校協働本部』の組織化」を重点的取組として進めることとしました。

取組の具現化に当たっては、これまでの「みやぎの協働教育」の推進を通し、各市町村で整備されてきた地域と学校が連携・協働した既存の組織を新たな方向性へと充実・発展させていくことが必要です。

このことから、県内（仙台市を除く）の地域と学校の連携・協働の現状や課題を把握するため、平成29年11月にアンケート調査を実施し、このたびその結果を取りまとめました。

今後、本報告書のデータを参考にしながら、各市町村における地域と学校の連携・協働による特色ある活動が一層充実するとともに、安定的・継続的な組織体制の整備が推進されますことを期待しております。

結びに、今回の調査に当たって御協力いただきました県内市町村教育委員会及び県内市町村立小・中学校の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成30年3月

宮城県教育庁生涯学習課長 新妻直樹

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	
	(2) 調査の方法・対象等	
2	調査結果から見る地域学校協働活動の概況と課題	2
	(1) 地域学校協働活動の推進組織体制について	
	(2) 地域学校協働活動を推進する人材について	
	(3) 交流の場及び情報スペースの設置について	
	(4) 学校における研修及び情報提供・相談体制について	
	(5) 学校支援活動及び児童・生徒の地域活動への参画について	
3	市町村教育委員会地域学校協働活動担当者を対象とする調査結果	4
	(1) 回答者の社会教育主事の割合	
	(2) 地域学校協働活動の生涯学習計画への明記	
	(3) 地域学校協働本部の設置等	
	(4) 地域学校協働本部の形態	
	(5) 地域学校協働活動推進員の配置	
	(6) 統括コーディネーターの配置	
	(7) 地域コーディネーターの配置	
	(8) 地域学校協働活動推進員及びコーディネーターの配置上の課題	
	(9) 交流の場の設置	
	(10) 地域学校協働活動実施上の課題	
4	地域連携担当教職員を対象とする調査結果	12
	(1) 学校の属性等	
	(2) 回答者（地域連携担当）の社会教育主事資格の有無	
	(3) 地域学校協働活動の教育計画への明記	
	(4) 学校区における地域学校協働本部の設置等	
	(5) 地域学校協働活動に関する学校内での研修等	
	(6) 地域住民との連携状況	
	(7) 地域学校協働活動等の情報提供	
	(8) 学校支援ボランティアの整備	
	(9) 情報交換スペースの整備	
	(10) 地域連携担当の相談相手	
	(11) 学校支援活動の内容	
	(12) 児童・生徒の地域活動への参画	
	(13) 地域学校協働活動実施上の課題	
	参考資料	
	1 アンケート調査実施要項	23
	2 アンケート調査設問票	24